

気候・エネルギー・環境大臣コミュニケ附属書

重要鉱物セキュリティのための 5 ポイントプラン（仮訳）

コミュニケからの抜粋

72. 重要鉱物：我々は、グリーンエネルギー移行における重要鉱物の重要性の高まり、並びに、脆弱なサプライチェーン、独占、重要鉱物の既存のサプライヤーの多様化の欠如に起因する経済上及び安全保障上のリスクを防止する必要性を再確認する。我々は、責任ある強靱な重要鉱物サプライチェーンを構築し、地域社会の利益を確保し、イノベーションと競争力を推進し、人間の尊厳と人権を尊重し、環境フットプリントを最小限に抑えるために、堅固な環境、社会、ガバナンス（ESG）基準が重要であることを確認する。我々は、トレーサビリティを備えた重要鉱物のオープンで透明性のあるルール及び市場ベースの取引を支援し、重要鉱物に関する市場歪曲的措置及び独占的政策に反対し、採掘国、生産国及び消費国間の対話を促進することにコミットする。我々の課題克服を実現させる主要なものとして、我々は、附属書の「重要鉱物セキュリティのための5ポイントプラン」を実施することにコミットする。

ポイント 1：長期的な需給予測

我々は、重要鉱物の中長期的な需給について、鉱業生産業、消費両部門の専門的知識に基づき、精度の高い予測を出し、追加的対策の必要性を検討する。この作業を促進するため、我々は、IEA に対し、内部タスクフォースを設置し、IEA の重要鉱物作業部会と協力して分析及び検証を実施するよう要請する。

ポイント 2：責任ある資源・サプライチェーンの構築

我々は、増大する需要を満たすため、透明性とトレーサビリティを促進する責任ある方法で、重要鉱物の新たな鉱山及びサプライチェーンの開発を強化する。我々は、希少資源を巡る競争が激化する中、重要鉱物の取得を協力的に支援する方法を模索し、同志国が特定の採掘、加工及び精製プロジェクトのために協力し、国際的共同投資を強化するグローバル・インフラ投資パートナーシップ（PGII）や鉱物安全保障パートナーシップ（MSP）等のイニシアティブの先駆的な取組を支持する。我々は更に、カナダが主導する持続可能な重要鉱物アライアンスや、欧州連合が最近提案した重要鉱物原材料クラブ等のイニシアティブに留意する。我々はまた、尾鉱のリユースを含む鉱業・製錬部門における技術革新の

重要性を確認し、クリティカルマテリアル・ミネラル会合等の利用可能なフォーラムの活用により技術交流を継続することに合意する。

我々は、MSP等の国際共同投資に各国の財政支援策を活用できる方策を模索し、高いESG基準を前提とした民間投資を推進する。現在、G7全体で、国内外のプロジェクトに活用できる130億ドルの財政支援を準備している。また、公的金融機関と緊密に連携し、高いESG基準に基づく協調プロジェクトを策定する。

ポイント3：更なるリサイクルと能力の共有

我々は、重要鉱物のリサイクルをグローバルレベルで促進する必要性を確認し、MSP等の利用可能なフォーラムを活用して、開発途上国及び製錬施設を含む先進的で環境に配慮した施設を保有する同志国の間で、e-Waste（電気・電子機器廃棄物）の環境上適正な管理及びリサイクルを促進するためのイニシアティブの確立を検討する。

我々は、上記のようなe-Wasteのリサイクル手法は、EVのスクラップ等により大量に廃棄されることになる使用済みリチウムイオン電池やネオジム磁石の将来のリサイクルに適用できると認識している。

我々はまた、各国の産業状況を踏まえ、利用可能な最良の技術（BAT）を備えた国内のリサイクルチェーンを確立し、e-Waste、使用済みリチウムイオン電池やネオジム磁石等のリサイクルが可能な材料のリサイクル能力を発展させる重要性を再確認する。

ポイント4：技術革新による省資源

我々は、各国の産業状況に応じて、重要鉱物の省資源・代替技術のイノベーションを推進し、クリティカルマテリアル・ミネラル会合等の利用可能なフォーラムを通じて、同志国間で研究開発活動に関する情報交換を継続する。我々は、当該会合がその加盟国を全てのG7諸国に拡大し、オーストラリアを含むG7+における、重要鉱物政策及びポイント2で先だつて言及した技術を含む関連技術に関する情報を共有するためのより緊密な枠組となることを提案する。

ポイント5：供給障害への備え

我々は、重要鉱物の短期的な供給障害に備えるためのIEAによる「重要鉱物の自主的なセキュリティプログラム」の検討を支持し、IEAに必要な情報を提供する。上記のIEAのタスクフォースは、これらの活動にも対処する。